

巻頭言

始まった医療事故調査制度

少子高齢化の進展を背景に、2025年に向けた医療・介護の大改革が始まっています。こうした潮流とは別に、医療・看護分野における新制度の導入が相次いでいます。一般社会での認知度は低いものの、10月1日から始まった医療事故調査制度もその一つ。

医療安全に関して社会の関心が高まったのは1999年。横浜市立大学で心臓病患者と肺がん患者を取り違えて手術、都立広尾病院で血管内に消毒薬を誤注入、2000年には京大病院で人工呼吸器にエタノール誤注入、東海大学病院で静脈内へ内服薬誤注入など、多くの人為的なミスによる医療事故が多発しました。

これを受け、単に責任追求をするだけでなく、医療の質と安全を高め、原因究明と再発防止に結びつけるためにはどうすべきか、検討が開始されました。医療関係者、医療安全の専門家、学識経験者、行政や法律の専門家のみならず、遺族会の代表やマスコミ関係者も加わって議論されましたが、事故の刑事責任追及、被害者としての遺族の感情、既存の医療法・医師法との整合性などが複雑に錯綜し、混迷が続き、本制度が開始されるまでに15年以上が費やされました。

本制度の根幹は、医療者個人の責任追求ではなく、原因究明と再発防止に主眼が置かれています。

巻頭言「始まった医療事故調査制度」	1
健康公開講座報告	2
6月21日(日)開催「がんの予防」	2
9月13日(日)開催「生活習慣からみたがん予防」	3
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術(レーザー治療)について	4
高校生一日看護体験事業「体験！実感！ナースのお仕事」	4
「第29回中国・四国ストーリーナビリテーション研究会」無事終了	5
へき地医療拠点病院の指定	5
ピンクリボンキャンペーン	6
第24回(平成27年度)鳥取医学賞を受賞して	6
平成27年度鳥取県健康対策協議会会長表彰	6
鳥取中央育英高校「地域探求の時間」	7
倉吉みつぼし踊り大会に参加	7
院内保育所「給食感謝の会」	7
ソフトボール大会優勝	7
新任医師、視能訓練士、退職者の紹介	8
編集後記	8

対象となるのは「予期せぬ死」が発生した症例です。したがって、がんの末期で余命が限られていた症例、広範囲な心筋梗塞や脳梗塞、予測された死産、自殺などは除外されます。一方、病気が回復し、退院を待っている患者さんが突然死亡した症例は当然対象となります。幸い、厚生病院ではこの3年間、対象となる事例はありません。

本制度はすべての医療機関が対象となり、外部委員を加えた調査委員会による調査が実施され、その結果は厚生労働者が設置した医療事故・支援センターそして遺族に報告されます。小規模な医療機関では調査委員会の立ち上げが難しいので、都道府県医師会が支援にあたります。

問題点も多々指摘されています。家族への報告のあり方、調査委員会結果の医療訴訟への利用、調査委員会を立ち上げたが病理解剖で死因が明らかとなった場合の取り扱い、などです。

本制度は医療者と遺族の信頼を前提に制度設計されています。医療関係者は真摯に対応し、医療安全の確立に努める必要があります。

個々の事例を蓄積・検証することにより、より良い制度に改善する努力が、今、医療者に求められているのです。

院長 井藤 久雄

健康公開講座開催報告

6月21日（日）開催 「がんの予防」

がんの予防についてみなさんに知っていただきたいと健康公開講座を開催しました。

○消化器内科 林暁洋副医長

－胃がん・大腸がんの予防－

がんは日本人の死因第1位であり、毎年30万人以上が亡くなっています。

胃がんの原因として最も言われているのはヘリコバクター・ピロリ菌の感染ですが、2013年にこの感染胃炎の除菌療法が保険の対象となったため、今後、胃がんによる死亡数も減っていくと思われまます。内視鏡検査によりピロリ菌感染の有無を確認し、感染していれば除菌を行いましょう。

一方、大腸がんは肥満や食生活、飲酒などが危険因子とされています。食の欧米化で罹患数が増加しており、今後も増加すると思われまます。便潜血検査を行い、陽性なら内視鏡検査を受けるようにしまししょう。

○産婦人科 下雅意りり医師

－子宮がんの予防－

近年、子宮頸がんは20～30代の若い女性に急増しています。

子宮頸がんは、進行すれば命の危険があるのはもちろんのこと、比較的早期でも手術によって子宮や卵巣を失うため、結婚や出産を控えた女性にとってはさらに深刻な問題となります。

けれど、子宮頸がんは他のがんと違い、唯一確実に防げるがんです。なぜならば原因が特定されており、予防方法も確立されているからです。

子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染であり、ワクチンや細胞診（がん検診）で防ぐことができるのです。

○外科 田中裕子副医長

－乳がんの予防－

残念ながら乳がんを100%予防する方法はありません。それでもどんなことに気をつけて日常生活をおくれば乳がんの発症を減らすことができるのか、わかってきていることもあります。たとえば喫煙は発がんリスクを高めまますし、適度な運動・バランスのよい食生活はリスクを低くしまます。

乳がんで命を落とさないためにままずは予防すること、そして検診による早期発見・早期治療を行うことが大切です。乳がんを知って、もしもの時もあせらず対処できるようにしまししょう。

○外科 吹野俊介中央手術センター長

－肺がんの予防－

肺がんの予防はなんと言っても禁煙です。また受動喫煙といって、他人が吸ったタバコの煙を吸い込んだり、タバコを吸った人の吐く息を吸い込むことも、タバコを吸うことと同じくらいに肺がんになる危険性が高いので、受動喫煙対策も重要です。

がんは、誰でもなると考えて、早期に発見して治しまししょう。それには毎年欠かさず検診を受けることが必要です。もっとも有効な検査法は胸部CTを撮ることです。

2 cm以下の肺がんは、手術すれば90%以上の確率で治りまます。

9月13日（日）開催 「生活習慣からみたがん予防」

がんの予防は可能なのか？

たばこががんの関連、そしてがんの予防、変わる栄養学の常識についてなど、身近な食物とがんの関係をテーマにお話しました。

○外科 吹野俊介中央手術センター長

ーたばこががんー

たばこががんの発生と関連が深いことは、今や皆さんよくご存じのことと思います。

がんの発生はたばこを吸うことのみで起こるわけではありません。しかし、単一で最も大きな予防因子はたばこです。これは科学的、免疫学的にも証明されています。

WHOの禁煙活動推進の理由

喫煙とは「**病気の原因のなかで予防できる最大にして単一の原因**」としている。

他の先進諸国に比較して日本ではまだまだ喫煙率が高いというのが現状です。

喫煙によるがんで年間9万人以上の方が死亡しています。特に男性は喫煙者が多いので、がんによる死亡は男性が女性の4倍多いのですが、禁煙すれば男性のがんによる死亡は3分の1に減少すると推測されています。

さらにたばこは、受動喫煙で周りの人の発がんを促します。喫煙者はこのことにあまり気付いていません。

これだけ悪名高くなったたばこですが、ニコチン依存症という言葉があるようになかなか禁煙できないようです。

厚生病院では、毎火曜日に禁煙外来を行っており、内服薬などによる禁煙の支援をしています。

○井藤久雄院長

ー台所でできるがん予防ー

我が国でがんが死因の第一位になったのは1981年であり、現在では2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡しています。

がんは遺伝子の異常が積み重なって発生する慢性病であり、高齢化に伴って増加します。発がん物質が遺伝子異常を引き起こしますが、発がんに関する三大因子は、1) 喫煙（約30%）、2) 食事（約30%）、3) 感染症（ウイルス、細菌）です。両親から遺伝子異常を受け継いでがんが発生するのは5%程度と考えられています。

食事とがんの関連ですが、がん発生に関与する食物もあれば予防に役立つ食物もあります。がん予防食は、生活習慣病予防食であり、長寿食でもあります。

まとめ

- * 長寿社会では大部分の人ががんになる。がんで死なない工夫と努力が重要(天寿がん)
- * 発がんの三大要因;喫煙、食物、感染症
- * 食生活を含むライフスタイルの見直しで、がん発生の危険率がある程度低下する。
- * 低塩、低脂肪、低カロリー(肥満の解消)
- * 早期発見のためにがん検診を有効に利用する
- * がん治療は手術、抗がん剤、放射線。治療法の選択肢が増えている。

次回健康公開講座のご案内

日 時:3月6日(日)

テーマ:他職種で支える緩和ケア(仮題)

会 場:倉吉交流プラザ(倉吉市立図書館の2F)

入場は無料です。

下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術（レーザー治療）について

下肢表面の表在静脈の逆流を防止する弁の調子が悪くなると、血液のうっ滞や逆流が起こり静脈瘤になります。

下肢静脈瘤は成人男性の約10人に1人、成人女性の約4人に1人くらいの頻度で起こるとされ、だるさ・こむら返りなどの症状が出てきます。さらに症状が強くなると、皮膚に炎症を起こし潰瘍を形成します。

症状が軽い場合は少し足を上げて休んだり、弾性ストッキングをはいたりしますが、症状が強い場合は、静脈瘤をレーザーで焼いて静脈を閉塞してしまう血管内焼灼術（レーザー治療）をお勧めしています。

このレーザー治療は傷がほとんど目立たなく、手術直後から歩行が可能な新しい手術です。また、当院では目立つ静脈瘤を小さい傷にて切除する手術も同時に行い、美容の面

での改善にも努めています。

これらの治療は1泊2日でも可能ですので、下肢の静脈の拡張が目立って、足がだるいなどの症状のある方は当院への受診をお勧めします。

外科 医長 西村 謙吾



レーザー治療（インテグラル）

高校生一日看護体験事業「体験！実感！ナースのお仕事」

8月11日（火）に、4校13名の高校3年生が参加して、高校生の一日看護体験事業を実施しました。



今年は、病棟での看護体験は当然のこと、分娩室での妊産婦体験、手術室での手術時手洗い体験、救急外来での患者体験を組み入れ、現場での体験にこだわって企画しました。

高校生からは、「実際に患者体験が出来て、看護師の仕事がより一層理解できた」「ますます看護師になりたいと思った」「看護師になる目標に向かって頑張りたい」等、看護師をやりがいのある仕事としてとらえ、将来への前向きな言葉がたくさん聞かれました。

今後さらに看護師の役割は拡大していきます。この事業を通して、看護の魅力を伝えていきたいと思います。

看護局副局長 松本比登美

「第29回中国・四国スーマリハビリテーション研究会」無事終了

「第29回中国・四国スーマリハビリテーション研究会」を、7月4日に米子コンベンションセンターで開催いたしました。

教育講演では愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンターの杉本はるみ先生に、がん化学療法や放射線療法を受ける患者のスキンケアについて大変わかりやすいご講演をいただきとても勉強になりました。

特別講演にきていただきました札幌皮膚科クリニック、褥瘡・創傷治癒研究所、豊水総合メディカルクリニックの安部正敏先生には絶妙な話術で、とてもおもしろいご講演をいただき大好評でした。

お二方とも超多忙にもかかわらず、わざわざ鳥



取まできていただき、大変感謝しております。

中国四国地区から予想を上回るたくさんの方々のご参加をいただき、実りある研究会になったものと思っております。また、事務局の方々、看護局の方々にも、開催にあたり大変なご尽力をいただき、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。おかげさまをもちまして無事研究会を終えることができました。本当にありがとうございました。

第29回

中国・四国スーマリハビリテーション研究会会長

西江 浩(消化器外科部長)

へき地医療拠点病院の指定

平成27年6月23日、当院は鳥取県知事より「へき地医療拠点病院」の指定を受けました。

へき地医療拠点病院とは、へき地の病院、診療所への代診医の派遣、へき地の医療機関従事者に対する研修、遠隔診療支援等の診療支援事業が実施可能な病院を、概ね二次医療圏単位で指定するものです。

鳥取県内では、これまで、県立中央病院、鳥取大学医学部附属病院、日野病院の3病院が指定を受けていましたが、このたび、当院

と鳥取市立病院が加わることになりました。

現在、中部地区では代診医派遣の対象となるへき地医療機関はありませんが、指定後、東部地区、西部地区の医療機関から代診医の派遣要請があり、既に日南病院などへ医師派遣を実施しています。

今後も県内のへき地医療確保のため、可能な支援は積極的に行っていきたいと思えます。

ピンクリボンキャンペーン

ピンクリボン月間にあわせて10月1日から7日まで、院内でピンクリボンキャンペーンを行いました。

キャンペーンでは、ポケットティッシュを配布して乳がん検診の大切さを知っていただくとともに、がん体験者からのメッセージの紹介や乳が



んの自己検診模型を実際に触ってもらうコーナーを設けました。

期間中、患者さまや面会に来られた方など約400人にお立ち寄りいただき、多くの方に検診の大切さを知っていただけたと思います。

乳がんだけでなく、全てのがん検診を受け、早期発見に心がけましょう。

がん患者サロン「すずかけサロン」は毎月 第1、第3火曜日14時～16時に開催しています。

【お問合せ先】

がん相談支援センター

電話 0858-22-8181

第24回（平成27年度）鳥取医学賞を受賞して

受賞論文は「当科における腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療の初期成績」です。

対象は鳥取県立中央病院で施行した計57例の腹部大動脈瘤(AAA)の待機手術症例で、70歳以上もしくはハイリスク症例の34例にステントグラフト治療(ステントグラフト群)を行い、それ以外の23例に開腹による人工血管置換術(開腹群)を施行しました。その結果、ステントグラフト群は開腹群に比べて高齢者が多かったものの、手術時間・入院期間が短く、また両群に大きな差はなく満足いく結果でした。さらにステントグラフトと血管壁との隙間からのもれ(エンドリーク)の影響を手術後約2年追跡し、その影響を検討しました。

今後、高齢者の増加とともにステントグラフト治療が増加すると考えられますので、さらなる症例の蓄積による検討を行っていく所存です。

外科 医長 西村 謙吾



平成27年度鳥取県健康対策協議会会長表彰

多年にわたり協議会委員として児童生徒の心臓検診事業の推進向上に貢献した功績が認められ、小児科 奈良井 榮 部長が表彰されました。



鳥取中央育英高校「地域探求の時間」

6月18日から5回にわたり、鳥取中央育英高校2年生の「地域探求の時間」学習が実施され、当院は“医療現場の実態と地域医療”について学ぶ場を提供しました。



高校生には、医療に関わる各部門の職員の仕事内容や、病院という医療現場に触れ、病院が地域を支える大切な役割を持っているとともに、多くの職種の職員が協力して運営されていることを理解していただけたと思います。また、進路選択のヒントにもなったと思います。

今後も、これから地域の力となる若人を、高校生の1日看護体験や病院見学等で、積極的に受け入れていきたいと考えています。

事務局長 飯田綾子

倉吉みつぼし踊り大会に参加

8月1日、倉吉みつぼし踊り大会に参加しました。今年も医師や看護師など約100名の職員が参加し、ひときわ目立つ大きなチームによる元気な踊りと掛け声で倉吉の夏を盛り上げました。これからも地域の賑わいに貢献し続けたいと思います。



院内保育所「給食感謝の会」

10月28日、院内保育所「キッズルームすずかけ」で給食感謝の会を行いました。保育所の子ども達が、いつも美味しい給食をつくる栄養管理室の職員に、歌や踊りの披露、手づくりプレゼントの贈呈を行い、日頃の感謝の気持ちを伝えました。

ソフトボール大会優勝

9月13日、県職員の職域対抗ソフトボール大会(県大会)に出場しました。地区予選を勝ち上がった4チームで対戦を行い、経験者を多数有する厚生病院チームは、打線のつながりと堅い守備をみせ、見事優勝(3連覇!)しました。



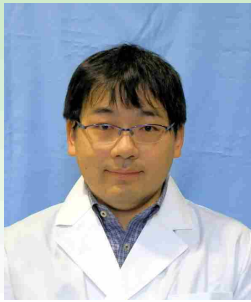
新任医師紹介 (平成27年10月1日採用)

消化器内科
おのやま たくみ
斧山 巧 (副医長)



【ひとこと】
平成二十三年度に卒後四年目でお世話になって以来、三年六ヶ月ぶりに戻って参りました。まだまだ未熟者ですが、今まで学んできたことを患者様に還元できるよう、また以前より少しは成長した姿をみせることができよう励みたく存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

呼吸器内科
いしかわ そういちろう
石川 総一郎 (副医長)



【ひとこと】
鳥取大学医学部を卒業し、呼吸器内科医として鳥取大学病院、松江市立病院、済生会境港総合病院で勤務しております。県

中部は初めてですが、皆様によりよい医療を提供できるよう精進していきますので、よろしくお願い致します。

産婦人科
きやま ともいき
木山 智義 (副医長)



【ひとこと】
生まれは鳥取市、高校からは米子市と今まで倉吉にはあまり縁がありませんでしたが、このたびお世話になることとなりました。"女性に優しい"医師をモットーに明るく楽しく診療に励んで参りますのでよろしくお願いいたします。



視能訓練士 (平成27年5月1日採用)

眼科
くわはら さち
桑原 沙知



【ひとこと】
初めての臨床現場となるのでまだまだ未熟ですが、少しでもお役に立てるよう日々知識・技術を向上したいと思います。よろしく申し上げます。

退職者

医師

呼吸器内科

山本 芳麿 (六月末付)

整形外科

能勢 道也 (六月末付)

産婦人科

門脇 浩司 (六月末付)

放射線科

杉浦 公彦 (八月二十二日付)

呼吸器内科

岩垣 尚史 (九月末付)

産婦人科

上垣 崇 (九月末付)

お世話になりました

編集後記

バック・トゥ・ザ・フューチャーの世界は？

1989年に公開され世界的に大ヒットした映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー2」。2015年10月21日は、この映画の中で主人公「マーフィー」がタイムマシン「デロリアン」に乗ってやってくる30年後の未来の日だった。映画の中の未来では、自動車が空を飛び、ロボットが働き、あらゆる機器が自動化された世界が広がっていた。「マーフィー」を演じたマイケル・J・フォックスも、今ではすっかりいい歳のおやじになったが、奇しくも自分とは同い年だ。次の30年後は2045年、どんな世界が待っているのか。医療の世界の2025年問題より遙かその先だ。未来の世界に想いを馳せた。(S. T)

編集 鳥取県立厚生病院 院内広報委員会
発行 鳥取県立厚生病院
〒682-0804 鳥取県倉吉市東昭和町150番地
電話 0858-22-8181(代) ファクシミリ 0858-22-1350

厚生病院のホームページも、ぜひご利用ください。
パソコン、スマートフォンからご覧いただけます。
<http://www.pref.tottori.lg.jp/kouseibyouin/>

